

# 日本授業UD学会 授業UDカレッジ 2020年度版 シラバス

## ●国語科教育

| No.  | 講座名             | 概要                                                         |
|------|-----------------|------------------------------------------------------------|
| 1    | 初級：国語授業UD 概論Ⅰ   | 物語文と説明文の授業をワークショップ形式で体験することで、国語授業UDのポイントについての具体的な理解を図ります。  |
| 2    | 初級：国語授業UD 概論Ⅱ   | 仮想事例をもとにして、子どものつまずきを想定した上で、国語授業をUD化する方法について解説します。          |
| 3    | 初級：書くことの指導      | 全員の子どもが楽しみながら書く活動をワークショップ形式で紹介し、その指導のポイントを解説します。           |
| 4    | 初級：話すこと・聞くことの指導 | 全員の子どもが楽しみながら話したり聞いたりする活動を紹介し、その指導のポイントを解説します。             |
| 5    | 中級：文学（下学年）の指導   | 下学年の文学の授業をワークショップ形式で体験する中で、発問づくりの基本と応用について確認します。           |
| 6    | 中級：文学（上学年）の指導   | 上学年の文学授業をワークショップ形式で体験する中で、心情変化や主題に関する指導について確認します。          |
| 7    | 中級：説明文（下学年）の指導  | 下学年の説明文授業をワークショップ形式で体験する中で、発問づくりの基本と応用について確認します。           |
| 8    | 中級：説明文（上学年）の指導  | 上学年の説明文授業をワークショップ形式で体験する中で、要点・要約の指導について確認します。              |
| 9～12 | 上級「教材研究と模擬授業」   | 模擬授業をする中で、実際の授業におけるポイント（子どもの反応への対応、教材提示のタイミングなど）について確認します。 |

## ●社会科教育

| No. | 講座名                                         | 概要                                                       |
|-----|---------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| 1   | 初級：社会科授業UD 概論Ⅰ                              | 社会科授業をUD化する目的と社会科に難しさを感じる子どもの特徴について説明します。                |
| 2   | 初級：社会科授業UD 概論Ⅱ                              | 社会科授業における焦点化、視覚化、共有化の目的と方法について説明します。                     |
| 3   | 初級：社会科授業におけるスモールステップ化・身体性の活用・スパイラル化・適用化・機能化 | 社会科授業におけるスモールステップ化・身体性の活用・スパイラル化・適用化・機能化の目的と方法について説明します。 |
| 4   | 初級：社会科授業の発問と板書                              | 社会科授業における発問と板書の条件、種類、方法について説明します。                        |
| 5   | 中級：社会科の教材研究                                 | 社会において教材がそなえるべき要件や教材開発の方法について説明します。                      |
| 6   | 中級：社会科の教科書活用                                | 社会科授業における教科書活用の方法について説明します。                              |

|      |                    |                                                            |
|------|--------------------|------------------------------------------------------------|
| 7    | 中級：単元の展開の構造化       | 社会科授業における単元展開の構造化の目的と方法について説明します。                          |
| 8    | 中級：本時の展開の構造化と指導案作成 | 社会科授業における本時の展開の構造化の目的と方法について説明します。<br>指導案作成について説明します。      |
| 9～12 | 上級「教材研究と模擬授業」      | 模擬授業をする中で、実際の授業におけるポイント（子どもの反応への対応、教材提示のタイミングなど）について確認します。 |

## ●算数科教育

| No. | 講座名                 | 概要                                                                                  |
|-----|---------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 初級 算数授業UD概論Ⅰ        | 算数授業をワークショップ形式で体験することで、算数授業のUD化のポイントについての具体的な理解を図ります。                               |
| 2   | 初級 算数授業UD概論Ⅱ        | 仮想事例を基にして、子どものつまずきを想定した上で、算数授業をスモールステップ化・動作化する方法について解説します。                          |
| 3   | 初級 数と計算の指導（低・中学年）   | 低学年及び中学年の数と計算の指導における育成すべき資質・能力と特徴的な児童のつまずきについて説明します。また、全員が楽しく参加できる算数的活動について説明します。   |
| 4   | 初級 図形/測定の指導（低・中学年）  | 低学年及び中学年の図形及び測定の指導における育成すべき資質・能力と特徴的な児童のつまずきについて説明します。また、全員が楽しく参加できる算数的活動について説明します。 |
| 5   | 中級 A数と計算の指導（中・高学年）  | 中学年及び高学年の数と計算の指導における育成すべき資質・能力と特徴的な児童のつまずきについて説明します。また、全員が深い学びを実現できる算数的活動について説明します。 |
| 6   | 中級 B図形の指導（中・高学年）    | 中学年及び高学年の図形の指導における育成すべき資質・能力と特徴的な児童のつまずきについて説明します。また、全員が深い学びを実現できる算数的活動について説明します。   |
| 7   | 中級 C変化と関係の指導（中・高学年） | 中学年及び高学年の変化と関係における育成すべき資質・能力と特徴的な児童のつまずきについて説明します。また、全員が深い学びを実現できる算数的活動について説明します。   |
| 8   | 中級 Dデータの活用の指導（全学年）  | 新設されたデータの活用の指導について、育成すべき資質・能力と特徴的な児童のつまずきについて説明します。また、全員が深い学びを実現できる算数的活動について説明します。  |

|    |                    |                                                                       |
|----|--------------------|-----------------------------------------------------------------------|
| 9  | 上級 演習 (教材研究の指導案作成) | 基本的な指導案についての考え方や書き方、教材研究の仕方について説明します。また、授業を見るときの幾つかのポイントをみなさんと考えます。   |
| 10 | 上級 演習 (教材研究と模擬授業)  | 単元の指導計画についての考え方や授業構成についての考え方などを説明します。それを踏まえて問題提示の仕方についてみなさんと考えます。     |
| 11 | 上級 演習 (教材研究と模擬授業)  | 授業を展開するための発問や板書について説明します。また、具体的な場面を想定して、どのように発表させるかについてみなさんと考えます。     |
| 12 | 上級 演習 (教材研究と模擬授業)  | 発表をさせた後の多様な考えの生かし方について説明します。具体的な場面を想定して、どのようにまとめや発展まで展開するかをみなさんと考えます。 |

### ●道徳科教育

| No. | 講座名             | 概要                                                                                           |
|-----|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 道徳科授業UD 概論 I    | 教育基本法や学習指導要領総則などにおける道徳教育に関する内容や道徳科の位置づけ、目標、年間指導計画について説明すると共に、UD道徳の基本的な考え方について説明します。          |
| 2   | 道徳科授業UD 概論 II   | UD道徳の4要件（焦点化、視覚化、共有化、身体表現化）の内容と方法、留意点、及び「分けて比べる」道徳科学習の趣旨と具体的な内容について説明します。                    |
| 3   | 道徳科の内容項目と発問 I   | 内容項目の4視点と具体的な内容について説明すると共に、授業づくりの基本的な考え方、発問の役割と具体的な発問の種類とその留意点について説明します。                     |
| 4   | 道徳科授業のねらいと発問 II | 授業のねらいの種類とその構成について説明すると共に、学習過程に応じた発問や多面的・多角的に思考することができるような多様な発問について説明します。                    |
| 5   | 道徳科の教材研究        | 教科書の構成や教材の特徴、及びそれらを踏まえた教材解釈の方法、留意点を説明すると共に、解釈を踏まえた授業のねらい、学習内容設定の方法、教材へのしかけや教材開発の方法について説明します。 |
| 6   | 質の高い多様な指導方法 I   | 各学年の特徴（指導内容の重点化等）を生かした学習の仕組み方、言語活動やグループ活動を生かした学習、自我関与が中心の学習、問題可決的な学習の仕組み方などについて説明します。        |
| 7   | 質の高い多様な指導方法 II  | 役割演技や動作化など道徳的行為の体験的な学習の方法、情報モラルやいじめ、現代的な課題に対応した学習、家庭や地域社会と連携した学習について説明します。                   |

|      |               |                                                                      |
|------|---------------|----------------------------------------------------------------------|
| 8    | 道徳教育、道徳科の評価   | 道徳教育、道徳科の趣旨を踏まえて、子供を評価する際の内容や方法、留意点について説明すると共に、授業評価の方法や留意点について説明します。 |
| 9～12 | 上級「教材研究と模擬授業」 | 模擬授業をする中で、実際の授業におけるポイント（子どもの反応への対応、教材提示のタイミングなど）について確認します。           |

## 【共通コース】

### ●学級経営

| No. | 講座名                            | 概要                                                                                               |
|-----|--------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 学級経営とそのユニバーサルデザイン化に関する基礎知識（講義） | 学級経営の課題を踏まえ、学習指導要領、教育のユニバーサルデザインを視点に学級経営に必要な基礎的な知識と戦略を概説します。                                     |
| 2   | 学級経営のユニバーサルデザイン化の方法（講義）        | 学級経営をユニバーサルデザイン化するための方法論を、学級経営の3領域や人間関係づくりを視点に講義と演習で学びます。                                        |
| 3   | 学級経営のユニバーサルデザイン化の実践（講義と演習）     | 子どもとの信頼関係づくりや子ども同士の人間関係づくり、教室における気になる行動、問題行動の対応の具体的実践を踏まえて、ポイントを概説すると共に演習を通して、自分の教室における実践を構想します。 |
| 4   | 学級経営と職員及び保護者との連携（講義と演習）        | 学級経営における同僚や保護者との理解を得て連携をする意味やそのための具体的方法、並びに、トラブルにおける対応の原則を講義と演習を通して学びます。                         |

## 【共通コース】

### ●特別支援教育

| No. | 講座名                     | 概要                                                                                                                   |
|-----|-------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 学級担任が知っておくべき特別支援教育の基礎知識 | 共生社会を構築するためのインクルーシブ教育や特別支援教育の考え方について、またそれらがどのような背景から導入されるようになったのかなどについて概説します。                                        |
| 2   | 学級担任ができるUD環境の作り方        | ユニバーサルデザイン環境を作るための学級作り、授業作りの基本的な枠組みについて、講義や演習などを通じて学びます。                                                             |
| 3   | 学級担任が使える特別支援教育リソース      | 通常の学級での発達障害のある子どもを含めた学級づくりや環境整備に触れた上で、特別支援教育コーディネーターや校内委員会が果たす組織的役割や、専門機関などのチームでの対応を概説し、資源マップ作成の演習などを通してそれらの理解を深めます。 |

|   |                                     |                                                                                                                                    |
|---|-------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4 | 通常学級の担任による<br>支援プランの作り方             | 通常の学級担任を想定し、気になる子どもに対するアセスメントや基本的な対応、学級全体の子どもを踏まえたユニバーサルデザインでの授業づくり、さらには発達障害等のある子どもへの個別対応や通級による指導、保護者との連携について具体的実践を踏まえて概説及び演習をします。 |
| 5 | 各教科の指導における<br>個別的配慮の手立ての作り方         | 学習指導要領における「障害のある児童（生徒）などについては、学習活動を行う場合に生じる困難さに応じた指導内容や指導方法の工夫を計画的、組織的に行うこと」の実現に向けた具体的方法に関する講義・演習を行います。                            |
| 6 | 子どもにもう一步近づくための特別支援教育<br>の視点（学習面）    | 学習面のつまずきに関して実態を把握する方法やアセスメントの方法を知り、通常の学級の日々の指導における個別的配慮のポイントを、講義・演習を通して学びます。                                                       |
| 7 | 子どもにもう一步近づくための特別支援教育<br>の視点（行動・社会性） | 行動上のつまずき（たとえば多動、衝動性、パニック、怒りや暴言、友人関係のとりにくさ等）、社会性・対人関係のつまずき、言語・コミュニケーションのつまずきなどについて概説し、通常の学級の日々の指導・支援におけるポイントを講義・演習を通して学びます。         |
| 8 | 子どもにもう一步近づくための特別支援教育<br>の視点（感覚・運動）  | 感覚・運動・身体面（たとえば姿勢の崩れやすさ、感覚の過敏さなど）のつまずきとその要因について理解し、通常の学級での指導・支援について講義・演習を通して学びます。                                                   |